



## 教育目標

- 知** 自ら学ぶ意欲を高め、よく考える人となる
- 情** 思いやりをもち、共に高め合う人となる
- 意** 強じんな意志をもち、最後までやり抜く人となる
- 体** 勤労を尊び、たくましい心身を鍛える人となる

本年度の重点目標

## 自ら考え 共に学び合い 協働する生徒の育成

～生徒の成長を 保護者・地域・教職員で  
共に喜び合える教育活動の充実を目指して～

キーワード 「認める」「ほめる」「生かす」

「生徒の成長を、保護者・地域・教職員で共に喜び合える学校」を目指して  
校長 田谷典久

いつになく雪解けが進み、グラウンドからは野球部の生徒の声が聞こえるようになり、ようやく春の訪れを感じるようになってまいりました。

この4月から、遠別中学校にお世話になります、田谷典久と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、今年度の遠別中学校は、1年生13名を新たに迎え、2年生18名、3年生21名の全校生徒数が52名、また教職員17名でスタートいたします。

私は、入学式で新入生に対して「人との出会いを大切に、互いの良さを認め合い、協力して素晴らしい学校をつくってください。」とお話ししました。中学生の時期は、心も体も大きく成長する時であり、このような時こそ、自分をよく見つめ、自分にはどんな力があるのかをじっくり見極めることが大切になってきます。その力を見つけるきっかけを与えてくれるのが、遠別中学校の友人や先輩方であり、先生方や保護者・地域の方々です。そういった意味からも、人との出会いを大切に、これからの中学校生活を送ってくれることを願っています。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大や急激なAIの普及など、予測困難な時代を迎えようとしています。これからは、一人の力では解決することが難しい課題が増え、様々な人々と力を合わせて解決していく力を身に付けさせることが学校の責務だと考えています。そこで、今年度の、学校重点目標を以下のように決めました。

### 自ら考え 共に学び合い 協働する生徒の育成

～生徒の成長を、保護者・地域・教職員で共に喜び合える教育活動の充実を目指して～

推進キーワード 「認める」「ほめる」「生かす」

家庭・地域と学校をつなげているのは「生徒」であり、その成長を互いに喜び合える教育活動の充実を目指した学校経営に努めてまいります。また、昨年度からの課題である「自己肯定感の高揚」に向けて、推進キーワードを「認める・ほめる・生かす」としました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した中で、可能な限り生徒の教育活動を保証し、地域・家庭・学校との連携を図っていく中で、地域の「宝」ある生徒の育成に全力で取り組んでいく所存です。中学校生活は3年間と限られていますが、この間、本校の生徒が、現在及び将来に渡り、心身共に健康・豊かで、幸せな生活を過ごすことができるよう支援に努めてまいります。

どうぞ、本校の教育活動にご理解、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。